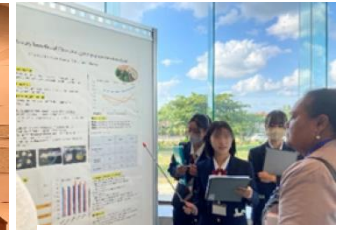


◆国際マリントキシコロジーシンポジウム

11 月 13 日（月）、国際有害藻類学会の関連行事として研究者の発表が行われた。そこでは、若い人材育成の一環で「高校生によるポスター発表」の機会が設けられ本校ではパパイヤ酵素を研究しているグループが参加した。ポスターも発表もすべて英語の中、生徒たちはよく頑張り、良い刺激となった。



▲研究者の発表

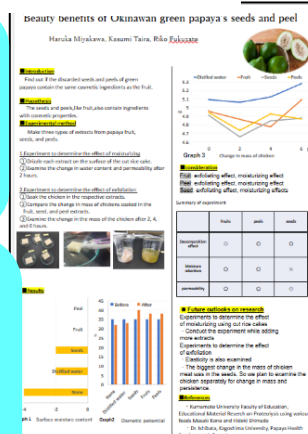


▲ポスター発表の様子▼

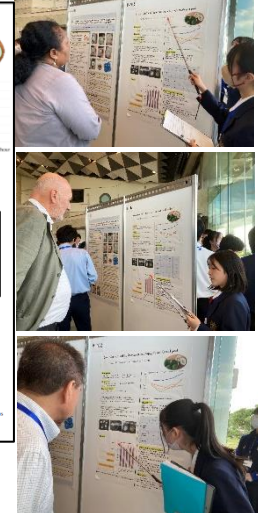
発表の準備をする中で自分たちが今までしてきた研究内容を初見の人にも分かりやすく伝えるにはどうすべきかを考えることが大変だった。当日は、英語での発表をしっかりとできた。練習した通りの受け答えはなかなかできなかったが、質問に対する答えをその場で考えたり、単語を言い換えたりして臨機応変に対応できた。今後の研究に繋がるアドバイスももらった。

当日は海外研究者たちの発表を聞くことができたとても良い経験となった。海外の方や日本の方も私たちのポスターセッションを聞きに来てくれて沢山アドバイスももらえて良かった。

研究者たちから、アドバイスを受けたり、研究者の発表に触れることで「研究すること」に興味を持ちました。この機会を通して学んだことを活かしてこれからも、先生方のアドバイスを受け、仲間と協力して課題探究を頑張っていきたい。



▲ポスター（英語）



◆OIST 博士課程学生グループプロジェクト

11 月 28 日（火）沖縄科学技術大学院大学（OIST）にて、紙飛行機を題材とした流体力学に関するハンズオンイベントへ参加した。イベントは、アイスブレイク（自己紹介）、講義 1, 2（英語）、実践の 4 部構成で行われた。

紙飛行機から空気力学について学んで、物理学的に飛ばす方法を考えることができとても面白かったです。また、講義においても日本語字幕や例を出して説明してくれて難しい内容でしたが理解することができました。今回はこのようなイベントを開いていただきありがとうございます。

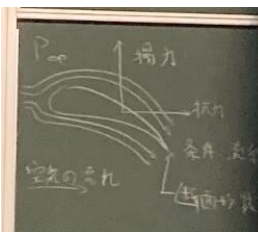
動画内で図示してくれたり、高校理科にもつながるところもあったのでわかりやすく興味深い講義だったと感じました。講義以外の面でも、OIST の研究室の様子を垣間見ることができたり、そこの方が親しくコミュニケーションをとってくれたり、とてもためになる経験になりました。

どのようにすれば長く遠く飛ぶ紙飛行機を作るか学びましたが、実際作ってみると表面積や重さ、飛ばす角度なども関係しているから難しかったです。また OIST は建物の形とかも独特で建物を見るだけでも楽しかったです。

このようなイベントに参加するのは初めてで少し緊張もしたが、純粋に楽しかった。研究内容も応用編は難しかったが基礎はある程度理解することができた。最後の紙飛行機を飛ばすという体験でどんなことでもしっかり研究して本気でやれば楽しいものだとは分かった。



アイスブレイク



実践～紙飛行機作成～

